

2025年～2026年

高校生なら
どなたでも

高校生3年(2年、1年も歓迎)

「冬期直前講座」 時間配分をきっちり



① 共通テスト (リーディング+リスニング)

2025年12月～2026年1月 (下記太字4回) (2回予想問題練習で本番試験に慣れる)

時間内に読み切り最高の点を取っておく! (2次試験のためにも)

筆記対策: 毎回、本番と同じような予想問題を2回、それぞれを前後に分け丁寧な解説も含めて、下記のように計4回実施し、適切な時間配分とテスト後に丁寧な解説をします。

時間: ① 2025年 12月29日 (月) 10:00am～12:30 ② 2025年 12月30日 (火) 10:00am～12:30

③ 2026年 1月6日 (火) 10:00am～12:30 ④ 2026年 1月7日 (水) 10:00am～12:30

すべて4回受講の場合は、14,000円 (税込) (内部生12,000円 (税込))

学校の補習がある方は回数払いにも出来ますが、その場合は受講料は下記の通り

／1回授業料 @4,500円 (税込) (内部生@3,800円 (税込))

時間配分は身体で覚え、それぞれの重要な要点を解説するので必ず習得してください。

- | | | | | |
|---|-----------------------|-------------------|--------|-------|
| ① | リーディング大問6～8 (40分/やや難) | +リスニング大問1～4 (やや易) | +丁寧な解説 | 予想問題1 |
| ② | リーディング大問1～5 (40分/やや易) | +リスニング大問5～6 (難) | +丁寧な解説 | 予想問題1 |
| ③ | リーディング大問6～8 (40分/やや難) | +リスニング大問1～4 (やや易) | +丁寧な解説 | 予想問題2 |
| ④ | リーディング大問1～5 (40分/やや易) | +リスニング大問5～6 (難) | +丁寧な解説 | 予想問題2 |



月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3
	①共通直前講座	②共通直前講座			
5	6	7	8	9	10
		③共通直前講座	④共通直前講座		
12	13	14	15	16	17
					共通テスト本番



2026年1月17日・18日には約49万余人が「共通テスト」に挑みます。リーディングは昨年（令和6年）の6,352語（過去最大の読解量）から今年（令和7年）は5,684語へと減り、平均点も51.59点（令和6年）→57.79点（令和7年）と平均点もやや上がっています。出題語数が減った点は易化と言えますが、本文の表現を言い換えた表現での選択肢や、複数の情報源から解答を導き出す必要がある設問など、落ち着いて解く為の時間を確保しておきたい問題も依然として出題されています。（150words/minuteで読めば問題だけを約40分で読め、解答にも十分時間が取れます。）

一方、リスニングは、平均点も67.24点（令和6年）→61.31点（令和7年）とやや難化しています。

80分内で「リーディング」をしっかりと意味把握出来ればどのような形で出題されようが全く問題はありません。通常の早めの読解で完全に解きれます。1点違いで数番も異なってきますので、とにかく1点でも多く取る必要があります。このコースでは「追い込む」と強い意識を持った人だけが集まるので、緊張感とともに一体感もあり確実に勉強がはかどるのはもちろんです。身体で80分（リーディング）と約30分のリスニングを集中を切らさずに身体で体得してください。このテストと解説で出る事は試験に即直結。12月からは勉強態勢を朝型にし、1月17日(土) 夕方からの第四科目「英語」のリーディング・テストとリスニング・テストが全力で臨めるようにしましょう。（体力が必要です）

② 国公立2次対策個人レッスン

2月25日(水)、26日(木)に開催される国公立大学2次試験（前期日程）。大学によってはそれぞれ出題形式に特徴があります。あなたが志望する大学の過去問題を順次ていねいに解いていき、その傾向と対策を講じます。個人レッスンですので、行き届いたレッスンが期待出来ます。ぜひお気軽にご相談下さい。

2026年1月22日(木)～試験直前まで、ご相談の上決めます/ 授業料 60分個人レッスン5,500円 (税込) 日本人教師

先輩たちは、北大、筑波、早大、慶大、上智、青山、東京女大、東大、一橋、東外大、東京芸大、お茶大、東京医科歯科大、東女医大、横浜国大、横浜市大、金沢、南山、奈良女、京大(医含む)、関外語、同大、立命、関学、阪大、大外大、神大(医含む)、神市外大、岡大(医含む)、広大(医含む)、島根医大、香大(医含む)、愛大(医含む)、松大、高知医大、産業医、九大、カリフォルニア大、エッカード大、トランスパシフィク大などへ多数進学。

先輩から最後の追い込みで一言！



岡山大学医学部（医）合格 J男

僕は英語アカデミーの共通テスト対策を受け、ひたすらこの形式の問題を解くことで、受講前70

点台だったところを本番では90点以上を取ることが出来ました。リスニングについても同様に慣れが大切です。2次試験は各大学によってさまざまな特色がありますが、僕の受けた大学では英作文がとても重要でした。アカデミーでは、授業の中で英作文の練習があるうえに自由英作文の宿題があり、外国人先生に採点していただけたというものです、大変勉強になりました。自分の受ける大学の問題形式は、慣れていれば解きやすさも格段に違うと思います。

大阪大学外国学部合格 I子

高3になり、クラスではどんどん長文を読むスピードも上がり、模試を受けるたびに自分の英語の能力の向上を実感できました。アカデミー以外で特に英語を勉強することはなかったので、とにかく先生の授業を習得し単語もコツコツ覚えました。やってよかったなと思うのは、徹底した繰り返しです。参考書や単語帳は何冊もいらないと思います。自分の決めた1冊を完璧にする方が、何冊にも手を出すよりずっと力になります。また過去問も2回解けるとより効果的だと思います。

愛媛大学医学部 M子

センター試験の勉強において、アカデミーに通っていて特に良かったと思うことは非常に効率よく勉強ができたことです。私はアカデミーの週2日の授業以外で家で共通テストの勉強は一切しませんでした。それでも受講する前は良くできて75%しかとれなかったにもかかわらず、共通テスト本番では95%という自分でも納得のいく結果を出すことができました。

九州大学法学部合格 N子

非常に役に立ったのは、先生がまとめてくださった「速読英単語」の単語プリントです。重要なものが厳選されており、それを全て頭に入れるだけでも相当な力になります。自分がまだ覚えられていない単語に印を付け、何度も何度も見直します。共通テストに関しては80分の中で筆記1年分を解き切るという練習も大切だと思います。特に第3問以降は1問の得点が大きいので、そこで落とないように意識しました。リスニングは、私自身正直苦手と感じていました。何度も60点代をウロウロ。それではダメだと思ったので、毎日CDを聞き間違った問題はスクリプトを見直し、とにかく英語を耳に慣れました。おかげで本番では96点を取ることができました。

東京大学理II合格 H子

東大は問題形式が独特だったので、慣れも必要だと思い過去問を授業でしました。また自由英作文は校長先生に添削していただくことで、ネイティブの先生からみた自分の単語の使い方や文法の間違いに気付くことができました。1年間で本当に多くの問題を用意してもらえたおかげで入試ではあせらず淡々と解答を進められました。最後まで自分を信じてあげて下さい。応援しています。

東京大学文III合格 A男

始めの頃にはどうにもならないように思えた英作文も、添削を繰り返すうちに形になっていきました。やはりネイティブの先生に目を通して頂けたことが大きかったと思います。精度・スピード共に上がり、試験の際も自信を持って素早く書き上げることができました。英語アカデミーのおかげです。

岡山大学医学部 M男

英語の成績がパッとしない成績では医学部を受ける武器にもならず、良い塾を探し英語アカデミーに出会いました。アカデミーの講座を受ける中で重要だと感じたことは、自分の解答をプロに見てもらうことです。自分なりの勉強で読解と英作文の問題集を使ってはいたのですが、あくまでも英語に触れるなどを習慣づけるためのもので、実質の二次対策は全て、アカデミーにまかせていました。

大阪市立大学法学部 S子

共通テスト対策をすれば必ず点は伸びると実感。模試を重ねていくなかで、点数が変動するのは当たり前です。私も模試によって何十点さがったりすることがありました。その時は確かにショックを受けるけれど、くじけずに自信を持つことが大切だと思います。英語の長文は読めば読むほど読解力が身につきます。英単語は覚えれば覚えるほど得をします。覚えすぎるということはありません。私も飽きるほど共通テスト対策の問題を解き続け、愛用していたDUOの単語を全て覚えきました。